



和田圭祐=1970年5月9日生まれ。広島大学歯学部卒。名古屋大学医学部大学院で医学博士号を取得。米国ハーバード大学大学院で08年6月、歯学博士号取得。米国歯周病専門医。現在ペンシルベニア大学歯学部でインプラント学ディレクターとして教鞭をとる傍ら、インプラントの臨床研究を行っている。2ヶ月に一度帰国し、本院にて治療に携わっております。

アメリカ発

最新歯科医療レポート

Vol.08 リポーター:和田圭祐

最新技術は超音波

歯科医院と聞いてもつともイメージされやすいものとして歯を削るドリルがあります。削ったときの痛みや振動など、不快感を連想させるため、歯科医院が敬遠される大きな理由の一つとなっています。

近年欧米では従来のドリル(回転式切削器具)に替わり、超音波を利用した骨切削装置(ピエゾサージェリー)写真①が出現し、インプラント、歯周病、外科矯正において非常に高い精度の手術が可能になりました。

この装置の特徴は騒音や振動が少ないことや生体(骨細胞)へのダメージが少なく、傷の治りがよいことなどがあげられます。

さらに歯科医師にとっても、手術



写真(本体)①



三次元超音波振動を用いて

安全で体に優しい21世紀の歯科医療

をする場所がよく見え、繊細な処置が行えるので、血管や神経を避け硬組織のみ切削し軟組織を傷つけないなどのメリットが多い。つまり拔牙や歯周治療・矯正やインプラントな

りで少数の医院しか導入されていないようですが、当医院(新市)はいち早く導入し、インプラント埋入や歯周外科、サイナスリフトなどに使用し、好結果を得ています。特にイ

どの外科処置に用いることで非常に安全かつ術後の痛みなどを抑えた手術が可能になります写真②。

ペンシルベニア大学の歯周病専門クリニックでも歯周病治療の際の骨整形、さらには手技的に難しいとされる、痩せてしまった顎へのインプラント治療のほとんどにこのピエゾサージェリーが使われています。

日本では紹介されてから1年あま



写真②



ンプラント専用チップは、当医院が日本で最初に導入しすばらしい結果を得ております。

21世紀の新しい歯科医療における技術革新として確実に受け入れられていく器具の一つと思われます。



新市・和田歯科医院

— M&K インプラントオフィス福山 —

院長 和田 勝 / アメリカ歯周病専門医 和田 圭祐
アメリカ歯周病学会認定医
福山市新市町新市726-1 (ムシバゼロ)

Tel. 0847-52-6480

詳しくは当院のインプラント専用サイトをご覧ください <http://www.wada-implant.net/>